

THE AISC 鋼カンパニー

貢献するSDGs



プレジデント 経営役員

伊藤 利男

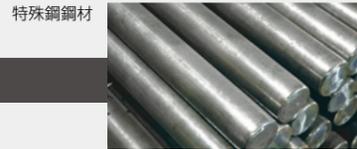
profile

2022年4月に鋼カンパニープレジデントに就任。



社会に提供する価値

鉄スクラップを原料とする資源循環型企業として、培ってきた技術力、鍛鋼一貫の強みを活かし、社会ニーズに適応し進化を果たすことで、いつの時代においても魅力あふれる特殊鋼を提供し、地球にやさしい、安全・安心なモビリティ社会の発展に貢献します。



事業分野

- 主力製品：機械構造用炭素鋼・合金鋼、非調質鋼、ポロン鋼、ばね鋼、高炭素クロム軸受鋼
- 主な用途：自動車のエンジン部品、ギア・ドライブシャフト・トランスミッションなどのドライブトレイン部品など

カンパニーの強み

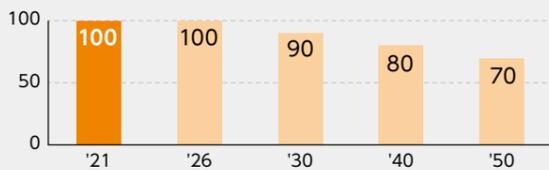
- 特殊鋼トップメーカーとして創業以来培ってきた“鍛鋼一貫”による高機能な材料開発力
- 自動車メーカー、部品メーカーとの強固なパートナー関係
- CO₂排出量が少ない電炉製法による特殊鋼製造技術^{*1}

*1 電炉製法は高炉製法と比較して製造時のCO₂排出量は約1/4といわれています

事業環境

主要顧客である自動車産業においては、中国やインドを中心に自動車生産の着実な拡大が期待されています。国内においては自動車の電動化が進展することなどから、ガソリン車向けの特殊鋼需要の減少が予測されます。一方で電動車向けの特殊鋼として高強度のギャ用鋼など新たな需要も生まれてきています。製造コストにおいては脱炭素化の潮流の中、鉄スクラップや電力価格の更なる上昇を見込んでいます。今後も当社事業の軸として収益の安定化を図るため、主力製品の需要減少を抑制し、QCD競争力の向上に取り組むとともに、CO₂排出量の削減など環境対応に注力します。

国内の特殊鋼需要(当社予測)



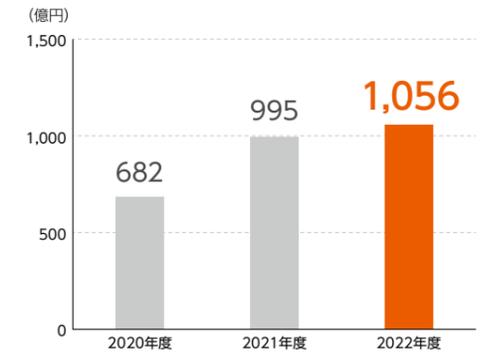
中長期の成長戦略

「モビリティ社会の発展に貢献する特殊鋼トップメーカー」を目指し、既存ビジネスの挽回と新規ビジネスを拡大し、年輪的成長することを目指します。既存ビジネスにおいては、顧客との共同開発や鍛鋼一貫の技術力を活かした提案力を強化し、需要の底上げを図ります。また、電動車や脱炭素社会で求められる高機能鋼材など、新鋼種の開発・拡販などによる戦略商品へのシフトを進めることで販売数量を確保します。海外では、当社が出資するインドのバルドマンスペシャルスチール社を活用することで、鋼材ビジネスのグローバル化を推進します。コスト面においては設備投資の厳選や急激な生産変動に柔軟に対応できる生産体制の構築による損益分岐点の引き下げ、小断面連続鍛造化の実現などでQCD競争力を強化するとともに、上昇する原料・エネルギーコストの適正な価格転嫁に取り組み、持続可能な事業基盤を追求します。

2022年度の実績

半導体不足を起因とする自動車生産の不安定化により販売数量は減少しましたが、原材料・エネルギー価格に対する販売価格への転嫁が一定程度進んだことなどで過去最高の売上収益を達成しました。一方で事業利益は、合金鉄など素材費上昇の販売価格への転嫁が遅れたことや、数量減少によるライン休止で生産効率が低下するなどコスト負担が増加し、マイナスとなりました。

売上収益



成果と今後の取り組み

収益力挽回に向けた取り組み

事業基盤の強靱化に向け、限られた生産量でも利益を出せる抜本的な損益分岐点の引き下げによる収益構造の改革に取り組んでいます。買い・つくり・売りの全方位で活動を展開するための特別プロジェクトを立ち上げ、安定的な黒字化に向けて取り組んでいます。

買い(調達)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄くず保管能力拡大により安価屑使用比を引き上げ原料コストを低減
つくり(製造)	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程一貫の全体最適化による歩留向上 ・最小限の生産体制と生産能力の上方弾力性を持ったトータルコストミニマムな操業体制 ・生産量の増減に左右されない原単位低減活動によるコスト削減 ・設備の保全周期適正化、設備投資の厳選による設備コスト削減
売り(販売)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売価格のルール改善 ①製造コストの販売価格への反映サイクル短縮 ②エネルギーコストのサーチャージ化 ③商品価値に応じたベース価格値上げ

鋼材ビジネスのグローバル化

今後の成長が期待できる海外需要の取り込みに向けて、2019年にインドの特殊鋼メーカーであるバルドマンスペシャルスチール社に資本参加しました。当社からの技術指導などによる品質・生産能力の向上もあり、事業・収益ともに順調に成長しています。2022年には新たな支援契約を締結し、さらなる成長に向け連携を強化しています。

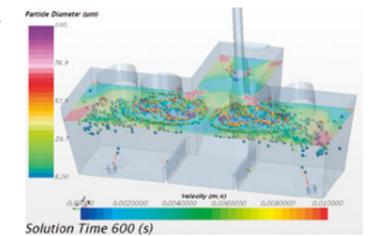
2023年には、アセアン地域におけるトヨタ自動車グループ向けの当社鍛造品生産拠点への鋼材供給を開始し、海外ビジネスネットワークを拡充しました。今後も対象品種の拡大や連携分野の拡大により、グローバルでの「鍛鋼一貫」ビジネスの拡大を推進します。



バルドマンスペシャルスチール社での当社アセアン鍛造品拠点向けの鋼材供給開始

小断面連続鍛造化技術の開発

当社では、製造工程におけるCO₂排出量の削減に向けて、鋼材の再加熱工程が不要となる、自動車用鋼の小断面連続鍛造化の技術開発に取り組んでいます。長年にわたり蓄積した操業技術に加え、DXを活用した要素技術と設備ノウハウを活かし、開発を進めています。現在は顧客による製品評価段階にあり、2024年の実用化・量産化を目指しています。



グループ会社トピック

グループ会社においてもカーボンニュートラルに向けて、積極的に活動しています。

アイチセラテック株式会社	耐火物製造 工業炉エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・耐火物の長寿命化による省資源化 ・工業炉の熱エネルギー効率化
近江鋳業株式会社	石灰石等鉱物の採掘・加工	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程における化石燃料の転換
アイチ物流株式会社	鋼材・鍛造品の輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・商流を超えた物流集約による輸送効率の向上 (グリーン物流パートナーシップ会議の特別賞を受賞)